



▲ 司会の矢野文学部教授

専修大学の研究力と教育力を生かして地域社会に知を発信する「社会知性フォーラム まつどー今昔物語」(専修大学、専修大学松戸中学校・高等学校主催、松戸市・松戸市教育委員会他後援)が7月21日、千葉県松戸市の松戸市民会館で開催された。昨年12月の岩手県北上市に続く第4弾で、今回は松戸市制施行70周年を記念し3人の演者が古代、中世、近世における松戸のありようを語り、約600人の聴衆をひきつけた。

社会知性フォーラム第4弾 まつどー今昔物語



▲ 日高理事長・学長



時代考証家 山田順子氏 (昭51文)



湯浅治久 文学部教授



すみだ郷土文化資料館専門員
田中禎昭氏(昭61文)

古代 中世 近世 における 松戸 を語る



▲ 古地図で「大嶋郷」の位置を説明する田中氏。右上、落ち着いたアナウンスの城北さん



専修大学松戸中学校・高等学校の和太鼓部による鉦や太鼓、篠笛が祭りの情緒を醸すなか、城北篤志さん(専修大学松戸高校3年)の品格あるアナウンスで開会。日高義博理事長・学長のあいさつに続き、コーディネーターを務めた矢野建一文学部教授が講演の概要と講師を紹介した。

最初に墨田区立すみだ郷土文化資料館専門員の田中禎昭氏(昭61文)は東大寺正倉院に伝わる「下総国葛飾郡大嶋郷戸籍」(721年)を基に「古代葛飾と八世紀の環境クライシス」と題して講演。人口の変動を気候や災害史の観点から論じた。「大嶋郷」は現在の葛飾区全域、墨田区と江戸川区の一部にあたる。現在の面積を当てはめ人口密度を割り出し、松戸市域の当時の人口を971人と試算。荒地に水田が散在する風景を想起し、「日蓮のライバルを支援した千葉氏の拠点が松戸にもあったのでは」と推論した。

最後に登場した時代考証家の山田順子氏(昭51文)は、ガリりと雰囲気を変えテレビ時代劇の舞台裏を披露。高視聴率を博したドラマ「JIN-仁-」をはじめ、撮影現場に立ち会う時代考証家は自分ぐらゐと語って笑わせた後、本題に。松戸は江戸時代、利根川と江戸川を結ぶ陸路「鮮魚街道」の起点としてにぎわったと説明。「鹿島灘や九十九里浜から日本橋の魚河岸まで、松戸経由で30時間かけサンマやイワシが運ばれた。サンマにひと塩振るのは江戸時代にその味に慣れたから」と明かし、会場の関心を誘った。

「中世では1月から4月までの端境期に死者が多い。5月の麦秋で一息つ

くまでは、死の季節」だった」と過酷な食糧事情を説明。松戸が太田川(現在の江戸川)の渡りの要として、下総国府(市川市)に近い官道のターミナルとして栄えたことが、本土寺のような発信力ある日蓮宗の寺院の成立につながったと語り、

続いて和太鼓部の躍動的な演奏と演舞、パネルドイスカッションが行われ、同校の榎谷有三校長のあいさつで閉幕した。

冒頭、アーミル大使は建国の父、ムハンマド・アリーシンナーを挙げ「人口の97%がイスラム教徒だが、皆が平等で平和に暮らせるようにという彼の理念が込められている」と国旗の左側にある白い部分が少数派を表していることを説明した。

「日本のサブカルチャーの人気は」「パキスタンの一番の課題は」などと質問が続き、会場は熱気に沸いた。

「中世では1月から4月までの端境期に死者が多い。5月の麦秋で一息つ

「パキスタンのスライドで紹介しながら「日本とパキスタンの友好関係」昨日、今日、明日」というテーマで語った。

「パキスタンのスライドで紹介しながら「日本とパキスタンの友好関係」昨日、今日、明日」というテーマで語った。

「パキスタンのスライドで紹介しながら「日本とパキスタンの友好関係」昨日、今日、明日」というテーマで語った。

「パキスタンのスライドで紹介しながら「日本とパキスタンの友好関係」昨日、今日、明日」というテーマで語った。

「パキスタンのスライドで紹介しながら「日本とパキスタンの友好関係」昨日、今日、明日」というテーマで語った。

一三二一 専修

専修大学「ホームページ」
<http://www.senshu-u.ac.jp/>

主なニュース

- 小田急電鉄会長が講義 経済学部寄付講座……
- 文・仲川教授が「手島右卿展」で高円宮妃に解説……
- 特集「スポーツ研究所」新たなチャレンジ……
- 校友会定時総会/会計人会が50周年記念式典……
- 海外留学・国際交流フェア/留学体験記……
- 石巻専修大学「サバだしラーメン」家庭用を商品化……

学校をつくらう

創立者4人の青春物語
DVD絶賛販売中(購買会他)

OPEN 2013 AUTUMN CAMPUS

専修大学オープンキャンパス

9/15 SUN

10:00 生田キャンパス
15:00 時間内入退場自由

Contents

- ◆入試問題解説 (英語・国語・日本史・世界史)
- ◆入試制度説明
- ◆大学紹介
- ◆保護者向け説明
- ◆教員による個別相談
- ◆学生スタッフ企画

入学センターインフォメーション
[神田キャンパス] TEL03-3265-6677
[生田キャンパス] TEL044-911-0794

駐日パキスタン大使招き 法学部学術講演会

学生への質問に丁寧に答えるアーミル大使

北西部にあたる。日パ両国の国交樹立は61年前だが、交流の歴史は古代までさかのぼると語り、1951年のサンフランシスコ講和会議ではパキスタン外相が「日本は尊敬と威厳をもって扱われるべきだ」と論じたことを紹介したほか、経済援助や支援活動を通じて日本への信頼度が高いことを解説した。

アーミル大使は最後に、パキスタンが50年以上も国連平和維持活動(PKO)に参加してきたことを力説。133人の殉職者を出しながら女性を含む警察官や兵士を派遣していると語り、「(テロなどの)ネガティブな報道が多いが、世界平和への貢献などパキスタンには多様な側面がある。報道をうのみせず、自ら知ろうとしてほしい」と呼びかけ質問を促した。

学生からは「女性の社会的な地位は」「核エネルギーに関する認識は」「日本のサブカルチャーの人気は」「パキスタンの一番の課題は」などと質問が続き、会場は熱気に沸いた。